



慶應義塾大学ビジネス・スクール

幸楽苑とペッパーフードサービス

5

—「いきなり！ステーキ」とのフランチャイズ契約—

2017年11月、驚きのニュースが飛び込んできた。ラーメンチェーン大手の幸楽苑ホールディングス（以下、幸楽苑）が、ステーキ店を展開するペッパーフードサービス（以下、ペッパー）とフランチャイズチェーン契約を結んだ。福島市内にある幸楽苑の店舗を2017年12月下旬にステーキ店の「いきなり！ステーキ」に転換する。ラーメン店と競合しないステーキ店の展開で、出店余地を広げると同時に、不振店の再生に生かすという^[1]。「いきなり！ステーキ」は都市型の立ち食いステーキ店として運営しているが、幸楽苑では原則、座席で商品を提供する。

10

2017年12月21日、幸楽苑は福島市内に「いきなり！ステーキ福島太平寺店」をオープンした。ペッパー側にとっても、これは福島県への初出店となった。今後、幸楽苑は2018年3月までに福島、宮城両県を中心に6店を展開し、2019年3月期にはさらに10店程度を加える方針である。幸楽苑の新井田傳社長（以下、新井田）は同日の開店セレモニーで、業績低迷に触れながら「事業の立て直しに一番早いのは、いま日本で一番元気がいいところと組むことだ」と語った^[2]。

15

20

日本の外食市場の環境

2016年における外食産業の市場規模は33兆3,474億円であった（富士経済調べ）。市場規模の推移としては、リーマンショック以後落ち込んでいたものの、その後景気の回復を受けて少しずつ上昇し、近年では年率プラス1%弱で微増している。

25

^[1] 日経流通新聞 2017年11月1日

^[2] 日本経済新聞地方経済面東北 2017年12月22日

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎が、公表資料をもとにクラス討議の資料として作成した。ケースの記述内容は作成時点での情報にもとづいている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 村上裕太郎（2018年9月作成）